

## 同志社中学校の生徒会役員が来訪

1月18日（木）午後1時過ぎに、同志社中学校の生徒会役員8名が遺愛に来訪し、遺愛高校の生徒会役員9名と交流の機会を初めて持ちました。遺愛の中学校生徒会は、中2がシンガポール修学旅行があったり、中1・中3が直前に実力テストがあったため受け入れ準備が難しいため、高校の生徒会にお願いしました。

同志社は新島襄が創始した学校です。新島は函館から脱国し、アメリカのボストンに渡り、アマースト大学で学び、1874年に日本に戻り、京都に同志社を設立しました。函館には新島襄の脱国の記念碑があり、毎年同志社関係者が訪れているそうです。同志社中学校は毎年1月に生徒会役員が脱国した函館と青森県の下北半島の風間浦村に訪問しています。風間浦村というのは、新島が脱国のために船で函館へ向かう途中、嵐のために寄港した縁で、1992年から村の中学校と交流しているとのこと。

18日は遺愛高校の推薦入試があり、本館、講堂、新館（高校生の教室）は入試のために使用できないので、ライト館のセミナールームで交流会を持ちました。

全員が自己紹介をしたのちに、お互いに学校紹介をパワーポイントを用いてしました。そして質疑応答をし合い、ホワイトハウスを共に見学して、3時にはお別れしました。短時間でしたが、関西弁と函館弁の違いを話し合ったり、内容の濃い充実したひと時でした。

2018年1月22日（月）



自己紹介のようす



同志社のプレゼン